

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	弘前大学	個人・グループ名	山崎総一郎	作品名	リラククスチェア
-----	------	----------	-------	-----	----------

○製作の動機

手すりがあり、ゆったりとリラックスして座ることができる椅子を製作したいと考えた。

リラックスするにはまず視覚からのイメージが大きな影響を及ぼす。そこでなるべく角々しい椅子にならないように曲面を利用して、やわらかみのある椅子を製作しようと考えた。椅子本来の機能である“座る”ことで感じるリラックス効果はもちろんのこと、“見る”ことで感じるリラックス効果、さらには“触る”ことで感じるリラックス効果を目指して作品製作をはじめた。



○利用方法

- ・読書をするとき
- ・ふと考え事をしたいとき

○工夫したポイント

- ①最大のポイントである手すりと背もたれのアーチ部分は、SPF材を薄く切り長時間水に沈め、含水率が高まり曲げやすくなったところを自転車のホイールを切った治具にクランプで固定して乾燥させる。最後にそれら一枚一枚をボンドで接着することでつくった。
- ②座面の局面部分は高圧水蒸気処理を施した木材を治具に固定し乾燥させた。また、座面のアールは奥に行くほど大きくなっていることもこだわった。
- ③角度のある足と手すり部分の接合が最も難しかった。
- ④背もたれとなる部分も削ることで曲面をつくりだし、ゆったりと座れる。
- ⑤視覚からリラックスできるように一切釘や木ネジを使わずに組み立てた。
- ⑥落ち着いた色合いのウレタン塗装を施し、見て感じるリラックス、さらには触ってリラックスできるように製作した。

